

令和8 年度 第1回 熊毛学校給食センター給食協議会会議録

日 時 令和8年7月2日（木） 15：30～16：20

場 所 大河内市民センター 2階小会議室

出席者 小学校給食主任5名、PTA代表者、学校給食課長、センター所長、
栄養教諭、調理委託業者業務総括責任者(オブザーバー)

1. 協議会の記録（要約筆記）

令和8年度第1回熊毛学校給食センター給食協議会を開催し、令和8年度2学期の給食献立案を中心に協議した。

2. 主な報告事項

学校給食課から、日頃の学校給食運営に対する協力への謝意があり、近年は物価高騰や国際情勢の影響により、食材や包装資材の確保が難しくなるなど、学校給食にも影響が出ている状況であるが、今後も安定した給食提供に努めていくとの説明があった。

3. 協議事項

令和8年度2学期献立（案）について 事務局から9月から12月までの献立（案）について説明を行う。

献立は、地場産物や旬の食材を積極的に取り入れるほか、「がぶっと食べよう山口」、「世界の料理」、「郷土料理」、「地場産給食」、「図書給食」など、食育につながる内容を計画していることを説明した。

主な内容は次のとおりである。

- ・9月は、くじら料理、山口県の食材を活用した献立、ベトナム料理、お月見献立、福井県の郷土料理などを実施予定。
 - ・10月は、青森県にちなんだ献立、秋の味覚カレー、中東料理、目の愛護デー献立、韓国料理、鹿児島県の郷土料理、きなこ揚げパン、ハロウィン献立を予定。
 - ・11月は、図書給食、よく噛んで食べる献立、山口県統一献立、カナダ料理、地場産給食週間、たこ飯などを実施予定。
 - ・12月は、おでん、韓国料理、スペイン料理、冬野菜カレー、秋田県料理、クリスマス献立、冬至献立、年越しうどんなどを予定している。
- 説明後、委員からの質疑はなく、2学期献立（案）は承認された。

4. 学校給食に関する意見交換

各学校から給食に関する次のような意見や感想があった。

児童・生徒から、「毎日おいしい」「いろいろな地域や外国の料理が楽しめる」「メロンなどの果物やデザートがうれしい」など好意的な意見が多く寄せられている一方で、スプーンの不足、食器やトレイの破損・摩耗、豆料理や酸味のある献立を苦手とする児童がいることなどの課題や、ラーメンやフルーツ・デザート、スティックタイプのジャムなど、人気メニューを増やしてほしいとの要望もあった。

食器の更新について事務局から、限られた予算の中ではあるが、安全性を最優先に計画的な更新を進めていく方針を示した。

また、ごみ袋の配付については、各センターで運用方法を整理しているところであり、必要数を定めたうえで対応していく予定であると説明した。

献立の配膳方法について質問があり、事務局から、献立ごとに配膳例を示した資料を作成しており、学校で活用している事例を紹介した。

委員からは、「熊毛学校給食センターの給食はとてもおいしい」との発言もあった。

5. 連絡事項

事務局から次の事項について説明した。

- ・9月献立表は夏休み明けに学校へ送付すること。
- ・アレルギー関係書類は期限までの提出に協力をお願いすること。
- ・野菜メニューコンクール受賞作品を給食に採用していること。
- ・9月分の実施申請は7月15日までに提出すること。
- ・破損した食器は直接テープを貼らず、袋に入れて学校名、学級名、状況を記入し返却すること。

6. 閉会

事務局から、本日の意見を今後の給食運営に反映し、安全・安心でおいしい学校給食の提供に努めていくと説明。

次回協議会は11月下旬から12月上旬に開催予定であり、日程は改めて通知することを確認し、閉会した。